

# 女性教職員活躍事例集



北海道教育委員会

## はじめに

この活躍事例集は、市町村教育委員会や北海道公立小・中・特別支援学校女性管理職会のご協力により、教職員のロールモデル（お手本）となる職員をご推薦いただき、その方々の体験談などをとりまとめたものです。

今回は、各地域において、それぞれの立場によりキャリア形成や仕事と子育てなどを頑張っておられるロールモデルの皆さんのほか、育児休業を取得し、子育てに奮闘した男性教職員（育MEN）の皆さんもご紹介いたします。

女性職員をはじめ、男性職員を含めた教職員の皆さんには、職種に関わらず、ロールモデルとなる女性職員の皆さんに共通する意識や行動などを今後の参考にしていただきたいと考えています。

また、ロールモデルの皆さんの「仕事のやりがい」も掲載しておりますので、これから北海道の教職員を目指す女性の方々にとって、さらに一層の理解を深めていただけることを願っています。

平成29年3月29日  
教育庁総務政策局教職員課

## 目次

- 留萌市立潮静小学校  
教諭 竹内 亜紀 . . . . . 3
- 清水町立清水中学校  
教諭 山本 由佳 . . . . . 4
- 北海道七飯養護学校  
教諭 佐藤 実華子 . . . . . 5
- 北海道上ノ国高等学校  
教諭 金子 真実 . . . . . 6
- 苫小牧市立日新小学校  
教頭 吉岡 ゆかり . . . . . 7
- 北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校  
教頭 櫻田 なおみ . . . . . 9
- 北見市立上常呂中学校  
校長 奥山 るみ子 . . . . . 8
- 北海道平取高等学校  
校長 渡邊 祐美子 . . . . . 10
- 〈育MEN（イクメン）の活躍紹介〉
- 網走市立網走小学校  
教諭 吉崎 紘一郎 . . . . . 11
- 音更町立音更小学校  
教諭 木下 尊徳 . . . . . 12
- 学校職員の子育て支援制度の概要 . . . . . 13
- 学校職員の子育て支援制度（取得期間別） . . . . . 14

所属校	職名	氏名
留萌市立潮静小学校	教諭	竹内 亜紀

年月	主な経歴
平成13年 4月	増毛町立増毛小学校教諭
平成15年11月	結婚
平成16年10月	長男出産
平成19年 4月	留萌市立幌糠小学校教諭
平成21年 3月	次男出産
平成23年 4月	長男小学校入学
平成26年 4月	留萌市立潮静小学校教諭
平成27年 4月	次男小学校入学



### 仕事のやりがい

子どもたちの人生の基礎を築く仕事ですので、重大な責任を感じます。しかし、その分、とてもやりがいのある仕事だとも思っています。学習時に、つまずきながらも答えを導き出した子どもからは、喜びを共感させてもらえます。また、諦めずに寄り添うことで、悩みを抱えている子どもが心を開いてくれた時には、教師をやっている本当によかったと感じます。

行事などを通して、学級が一つになった瞬間や子どもたちの成長が目に見えてわかる時にも喜びを感じます。子どもたちの人生の中では短い時間かもしれませんが、貴重な時間を共に過ごすことができる、素晴らしい職業ですので、誇りをもって仕事をさせていただいています。



### 後輩女性教職員へのアドバイス

大変なことや辛いこともあるかもしれませんが、その何倍もの喜びを味わうことができる仕事です。経験年数が増えるにしたがって、また、結婚や出産を経験することで、良い意味で価値観が変化し、子どもたちや保護者との関係にも深みが出ると私は感じています。

たくさんの可能性をもつ子どもたちのために、これからも一緒に頑張っていきましょう。

### 最も印象に残っている教育活動

幌糠小学校（平成26年3月閉校）で、子どもたちとともにトマトの加工品作りをしたことです。自分たちだけでは行き詰まることもあったトマトの栽培でしたが、地域や関係機関の方々のご協力をいただき、教材園で栽培したトマトからトマトジュースを作ることができました。地域の加工場で、封緘、加熱処理をした本格的な仕上がりとなり、この活動は、カゴメ株式会社「りりこわくわくプログラム」において、全国の優秀校5校中の1校として選出されることとなりました。

毎日、休まず行った水やりや草取りなどの苦労が一気に吹き飛び、全校児童10名と一緒に味わった感動は、今でも忘れられません。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

長男を妊娠した時は、増毛小学校で3年生の担任でした。つわりがひどく、とても辛かったのですが、職場の先生方が、学級の子どものことや私の体調のことを常に気遣ってくださり、乗り切ることができました。

また、保護者からも、「おなかが大きくなる様子を子どもたちに見せることで命の教育になる」と言ってもらい、本当にありがたかったです。

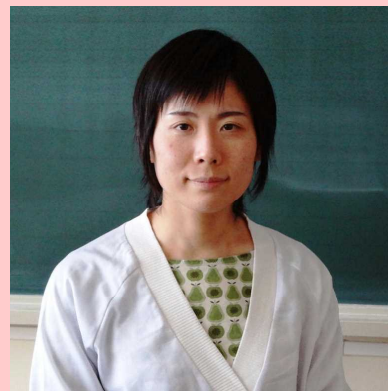
### 仕事と家庭の両立のコツ

夫婦間で仕事内容を理解し合うことが大切だと思います。私の場合、夫と職種は違いますが、お互いの仕事を理解し、尊重し合っています。

また、私の実家が道外のため、夫の実家の両親に頼ることがとても多いので、夫にも夫の両親にも感謝の気持ちを忘れないようにしています。

所属校	職名	氏名
清水町立清水中学校	教諭	山本 由佳

年月	主な経歴
平成16年 4月	帯広市立大空中学校教諭
平成17年 4月	初めての担任を持つ(2年生)
平成18年 1月	結婚
平成19年 3月	初めての卒業生を送り出す
平成20年 9月	長男出産
平成22年 4月	復職
平成23年 4月	清水町立清水中学校教諭
平成24年 3月	長女出産
平成26年 4月	復職
平成27年 4月	長男小学校入学



### 仕事のやりがい

たくさんの生徒や保護者との出会いがあり、心身ともに大きく成長する中学生と日々関わることは、大変ですがとてもやりがいがあります。生徒との距離が縮まったり、成長を感じたりすると、大きな喜びを感じます。

また、授業を通して、自分がずっと好きだった英語と関わり続けられることも幸せです。授業には正解やゴールがありませんが、子どもたちが生き生きと参加する授業を目指して試行錯誤することが大きなやりがいです。

### 最も印象に残っている教育活動

総合的な学習の時間の担当として、手探りながらも国際交流や福祉の授業を行ったことが印象に残っています。

周りの先生方に聞いてもらいながら、企画し、外部機関の方々と交渉や相談を重ねることは、とても勉強になりました。

そのときの授業がきっかけで、国際関係の仕事や介護の仕事に就いた生徒がおり、大人になった生徒たちからその話を聞いたときは、少しでも種まきができたことを本当に嬉しく思いました。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

第一子を妊娠したとき、男性の先生が、「女性が子どもを産むことは大仕事だ。男にはできない。そのことに一生懸命になれ。とにかく体を大事にしろ。」と教えてください、とてもありがたかったです。

授業の組み方も、部活動の対応も、体調や検診などに最大限に配慮していただきました。

つわりの時期は、家にいるより授業や仕事に集中しているときの方が、緊張感で体調の悪さが紛れました。

### 仕事を続けていく上で大切にしていること

前向きさ(考えすぎない)、笑顔、感謝、そして健康です。

授業、部活動、生徒指導、校務分掌、保護者対応などで、どの先生も多忙な中、保育所や学童のお迎えのために自分だけ早く帰宅することは申し訳なく、仕事も中途半端になります。だからこそ、先生方とのコミュニケーションや感謝の言葉を心がけています。

また、私は夫や近くに住む両親に日頃から家事や育児を支えてもらっているのも、家族への感謝を表すことも大切にしています。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

教員は、育児休業を最長で約3年間も取得することができ、安心して復職できる保証がある、恵まれた職業だと思います。

私は育児休業という家庭で過ごす期間があったからこそ、また復帰して社会で働きたいという思いが強くなりました。

時間の使い方がうまくいかず、自分は仕事も家庭も中途半端なのではないかと感じることもあります。それでも、支えてくれる家族と職場の方々に感謝して、自分にできることを誠実に実行していくことが大切なのだと思います。



所属校	職名	氏名
北海道七飯養護学校	教諭	佐藤 実華子

年月	主な経歴
平成14年 4月 平成18年11月 平成19年 4月	北海道七飯養護学校おしま学園分校 教諭 結婚 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 平成19年度特別支援教育研究研修員 (1年間単身赴任)
平成22年 4月 平成24年 9月	北海道七飯養護学校教諭 長女出産



### 仕事のやりがい

子どもたちの成長する姿を見られることが大きいです。子どもたちへの指導・支援に関して、悩むこともたくさんありますが、それぞれの子どもの「わかった」「できた」「楽しい」などの表情や姿を見ると、「次も頑張ろう」と意欲が湧いてきます。



### 最も印象に残っている教育活動

特別支援教育コーディネーターをしていた時に、校内支援の一環として、年間10人程度の転入生の受け入れ時の対応をしていました。行動観察や発達検査等の実態把握を行い、その子に合わせた環境設定や学習スタイル等を考え、実践し、学級担任へ引き継ぎをするという取り組みの中で、子どもたちからたくさん学ばせてもらいました。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

妊娠初期が2月頃で、校内人事等の時期だったので、安定期に入る前でしたが、妊娠後の経過のことも考え、早めに報告・相談しました。育児休業は娘が2歳6か月までは、私が取得し、続けてその後4か月程、夫の職場の理解もあり、夫が育児休業を取得しました。

長期に仕事から離れていたため、仕事復帰への不安がありましたが、夫が育児休業を取得し、家事と育児を主に担っていたため、仕事に集中しやすい状況の中、安心して仕事復帰をすることができました。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

仕事をする上で、様々な決断をする場面があると思いますが、その時に「やってみたい、やってみようかな」と自身が思うことを選択していくことで前向きに取り組むことができると思います。

困ったときでも、何かしら解決策はあると思うので、ぜひ、前向きに「選択」してほしいと思います。

### 仕事と家庭の両立のコツ

夫婦共働きのため、仕事はそれぞれの責任ですが、家庭のことは二人で協力しなければならないことなので、分担と協働が大切だと思っています。

お互いの得意分野を担当しながらも、様々な事情で難しい場合は頼んだり、頼まれたりしてお互いに「そういうこともあるよね」と言いながら、完璧を目指さず、7割くらいできればいいかなと思いつつやっています。

所属校	職名	氏名
北海道上ノ国高等学校	教諭	金子 真実

年月	主な経歴
平成10年 4月	北海道札幌平岡高等学校教諭
平成13年 3月	結婚
平成14年 4月	北海道斜里高等学校教諭
平成16年 5月	長女出産 育児休業
平成18年 4月	仕事復帰
平成19年 4月	北海道上ノ国高等学校教諭
平成21年 9月	長男出産、育児休業
平成24年 4月	仕事復帰
平成25年 4月	3年生担任
平成26年 4月	進路指導部長



### 仕事のやりがい

母親と教師を同時にこなすためには、時間と体力の限界を見据えなければなりません。生徒の成長や笑顔は子育てのヒントに、我が子の発育は仕事の原動力と課題解決のヒントになります。

家庭科教諭として教える課題を、母として自ら実践する毎日で、「育てる」ことにやりがいを求めると同時に、教師・母として「育てられている」実感を抱くようになりました。

### 最も印象に残っている教育活動

- 育児休暇中の家庭科授業「出産体験」「子どもの保育」への我が子との参加
- 育児休暇復帰後の3学年HR担任
- 教育相談委員会の立ち上げ
- 「子どもの発達と保育」における檜山振興局 林務課との連携授業「子どもの発達を促す木のおもちゃづくり」
- 「進路相談会in上ノ国」「キャリアプランニング・ガイダンス」の実施



### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

テニス部の全道大会引率を控えていた時に妊娠が判明しました。産前産後休暇に向け後任者への引き継ぎをしている間は気持ちの整理が付かず、社会生活から切り離されるような疎外感に苛まれました。休暇を発表した後に、更に追い込むような同僚の言葉に反発を覚えたこともありました。

しかし、温かい言葉や理解ある配慮に恵まれていることに気付いて、少しずつ、母になる決意を固めることができました。

### 男性教職員に一言

もっと多くの男性が育児休業制度の理解をして、取得してほしいと強く思います。厚生労働省の調査では、2015年の男性の育児休業取得率は1996年以降最高となりましたが、わずか2.65%にすぎません。

男性が、幼い我が子とより多くの時間接することによる効果は家庭にとどまらず、教職員として得ることも多いはず。子育ての大切さを社会に伝えるひとつの方法としても意義のあることだと思います。

### 仕事を続けていく上で大切にしていること

母親としては家庭、教師としては職場の理解と支援に感謝しています。

教師としてのスキルは、人それぞれのライフ・ステージでこそ身につけられるものがあります。男性、女性、未婚者、既婚者、子どものある家庭、ない家庭と、各々が置かれた状況で育まれる教育観には魅力があります。互いの生活の状況や仕事の課題を理解し、職員同士が支え合うことで家庭も職場も充実し、それが多様な生徒へ対応できる魅力ある学校づくりに繋がるものと信じています。

所属校	職名	氏名
苫小牧市立日新小学校	教頭	吉岡 ゆかり

年月	主な経歴
平成元年 4月	苫小牧市立泉野小学校 教諭
平成4年 2月	結婚
平成5年11月	長女出産
平成7年11月	長男出産
平成9年 4月	厚真町立鹿沼小学校 教諭
平成12年 4月	苫小牧市立植苗小中学校 教諭
平成14年 7月	次男出産
平成17年 4月	苫小牧市立明野小学校 教諭
平成24年 4月	厚真町立厚真中央小学校 教頭(夫と長女、 長男、次男を残し単身赴任) 昇任
平成27年 4月	苫小牧市立拓進小学校 教頭
平成28年 4月	苫小牧市立日新小学校 教頭



### 仕事のやりがい

教頭として学校全体を動かすことができること(学校運営)が一番のやりがいを感じる場所です。学校教育目標の実現のために、学力向上や体力向上、豊かな心の育成をどう進めていくかを組織で取り組んでいく時の職員との一体感は、教頭になってよかったと心から感じさせてくれます。

### 最も印象に残っている教育活動

第6学年の学級担任の時、たくさんの課題を乗り越えたクラスの子どもたちと心から卒業を祝い合ったことです。また、教頭になってからは、研究会に向けた準備や生徒指導で大変な仕事も職員の協力の下やりきった時です。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

学級担任をしていましたので、大きいお腹で忙しく走り回っていました。産前・産後休暇、育児休暇中は、学校が安心して後を任せることができる体制をとってくれていたため、何の心配もなく、母親業に専念していました。

3人の子どもがそれぞれ1歳の時に仕事に復帰しましたが、スムーズに現場に戻ることができました。



### 仕事を続けていく上で大切にしていること

1つめは、優先順位を考えて計画的に進めることです。教頭の業務は多忙と言われることがありますが、ちょっとした工夫で、乗り切ることができます。

2つめは、家族の協力、職場の協力を得ることです。そして、助けてもらった分は、必ず感謝し、何らかの形(仕事)で返すことです。

3つめは、仕事は楽しみながらすることです。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

管理職という仕事は大変ではありますが、教師という職業を選んで良かったと感じることができます。

また、これからの学校には、男性、女性それぞれの特性を生かし、それぞれの視点から学校をつくっていくことが大切だと思います。多くの女性教員がその感性や仕事への丁寧さを、これからの学校づくりに役立ててくれることを心から願っています。





所属校	職名	氏名
北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校	教頭	櫻田 なおみ

年月	主な経歴
昭和62年 4月	洞爺村立成香小学校 教諭
平成5年 4月	北海道真駒内養護学校 教諭
平成12年 4月	北海道拓北養護学校 教諭
平成23年 4月	北海道帯広養護学校 教頭
平成25年 4月	北海道北見支援学校 教頭
平成27年 4月	北海道札幌養護学校もなみ学園分校 教頭
平成28年 4月	北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校 教頭



### 仕事のやりがい

「子どもにとっての意味と価値」全ての教育活動は、ここに尽きます。子ども達の成長に立ち会えること、同僚・保護者・関係する方々と子ども達のことを語り合えることが大きなやりがいになっていると感じます。

### 最も印象に残っている教育活動

初任の小学校では、地域ぐるみで学校教育を創り出す“学び舎の原点”に出会いました。子ども達とこんなことをしたいとわがままに語る若造の話に耳を傾けてくださったのは、先輩、保護者、地域の方々でした。水田づくりやさつまいも栽培、地元の土を使った野焼きなど、地域の力をお借りして様々な教育活動に携われたことが印象に残っています。ものを創り出す楽しさ、ものごと・人力を点から線へとつなぐことを教わりました。特別支援学校では、訪問指導が自分を育ててくれたと思います。一対一の向かい合いであっても、ひとは決して一人では育ち得ないこと、言葉だけがかかわりの全てではないこと、生命と存在の尊さと重み、自分の成長なくして子どもの成長を生み出してはいけないことを子ども達から教わりました。“かかわりと育ちの原点”に出会いました。

### 仕事を続けていく上で大切にしていること

「共有」「共感」「共育」以前に勤務した学校の基本理念です。

まずは、話や声を「きく」こと、状況や先を「よむ」こと、青写真や方向性を「かく（描く）」ことを大事にしています。自分一人では全てのことを成し得ません。仕事においても、日常生活においても、いろいろな人達の存在が必要であり、有形無形の力を得ています。その上で、“つながりづくり”“バランス”ということをキーポイントに心がけています。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

いつか来た道、これからゆく道…人生には、それぞれのライフステージがあります。職場、家庭、地域社会、それぞれの場でその時々果たす自分の役割が必ずあります。経験や年代とともに役割も替わります。「親業」「子業」というキャリアは、子ども達と向かい合っていくこの仕事においては、大きな力であり、価値ある引き出しです。

公私バランスよく自分のよさと強みを発揮できるよう、自分のエンカレッジ（勇気づけ）リストを上手に活用できるとよいのではないのでしょうか。

私自身も、来し道を歩む人達を応援し支える同僚の一人であるとともに、そのようなチームづくりをめざしたいと思っています。応援しています。



所属校	職名	氏名
北見市立上常呂中学校	校長	奥山 るみ子

年月	主な経歴
昭和56年 4月	津別町立活汲小学校教諭 (教諭として小学校4校に勤務)
昭和62年12月	結婚
昭和63年 9月	長男出産
平成 3年 9月	長女出産
平成19年 4月	北見市立下仁頃小学校教頭 (教頭として小学校3校に勤務)
平成21年 3月	北海道教育大学旭川校 大学院教育学研究科 修了(平成17年入学)
平成25年 4月	網走市立西が丘小学校校長 (独居の実母が要介護1に)
平成26年 6月	オホーツク管内女性教員研修サークルときわ 会会長
平成28年 4月	北見市立上常呂中学校校長



### 仕事のやりがい

子供の笑顔が好きで、子供(児童・生徒)の成長を見ることにやりがいを感じている。



### 最も印象に残っている教育活動

自分が親として子育てに十分関われないことを自覚し、せめて我が子に絵本の読み聞かせをしようと公立図書館に通った。それがきっかけとなって読書指導に興味を持ち、学級に毎月70~80冊の集団貸し出しを受けた。よい絵本との出会いと児童と我が子が成長する姿が財産となった。

平成13年には、北海道学校図書館研究大会北見大会で『読書へのアニメーション』の授業公開を行い、子育てを仕事に、仕事を子育てに活用することができた。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

長男の時は3年生の担任。出産したら忙しいだろうと考えて、産前休暇までに授業研究を2回実施した。9月出産で仕事の切れ目を優先して4月に復職し、生後6ヶ月の長男を保育所に預けた。長男はやや病気がちで気管支炎や腸重積で2回入院した。夫や、仕事を持つ実母と義母に助けられた。

長女の時も3年生の担任。産前休暇に入ってから2回目の教育実践論文に挑戦した。予定日になっても長女が生まれる気配はなかったが、実践論文を提出すると無事に生まれた。やはり4月に復職し、3歳の長男と6ヶ月の長女を保育所に送り迎えしてくれた夫の協力があって何とか両立できた。反省点は、食べさせることに精一杯だったことである。

### 仕事と家庭の両立のコツ

夫が他業種であったので育児や家事に協力してくれ、感謝している。

我が子が長く保育所を休まなければならない病気の時には、お隣の方やお向かえの方、親戚にお願いして助けていただいた。年度末・年度初めに保育所が休みになると同僚の家にお世話になったときもあった。教頭として単身赴任してからは、義母が家族の食事を準備してくれた。

独居の実母に介護の問題が発生したとき、役所の担当者が「仕事を辞めないでください。そのために私たちはいます。」と励まされたことが思い出される。

仕事も家庭も、一人で抱え込まずに多くの方の手を借りることで乗り切ることができ、感謝、感謝である。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

「どんなに名を知られていないような草花でも花を咲かせるように、どんな子供たちにも一人ひとりが咲かせなければならない花があります。」(東井義雄)

いつも感謝の気持ちを忘れずに多くの人たちと力を合わせて大切な子供たちが花を咲かせることができるよう、自分を磨き続けたいと思います。



所属校	職名	氏名
北海道平取高等学校	校長	渡邊 祐美子

年月	主な経歴
昭和61年 4月	北海道佐呂間高等学校 養護教諭
昭和63年 3月	結婚
平成元年 5月	長女出産
平成3年 4月	北海道留萌工業高校 養護教諭
平成7年 4月	北海道遠軽高等学校定時制課程 養護教諭 (長女とともに赴任・夫は仁木商業高校へ単身赴任)
平成13年 4月	北海道大麻高等学校 養護教諭 (家族別居解消するも長女転校先でのいじめで4か月間保健室登校)
平成16年 4月	北海道立教育研究所生徒指導・教育相談部 研究研修主事
平成19年 4月	北海道教育庁学校教育局学校安全・健康課 指導主事 (H22.4～課名変更 健康・体育課)
平成23年 6月	同 主査
平成25年 2月	実母が「特発性間質性肺炎」(特定疾患)に罹患し、24時間酸素吸入を要することになり介護のために同居
平成25年 4月	北海道札幌東高等学校 教頭 昇任
平成28年 4月	北海道平取高等学校 校長 採用



### 仕事のやりがい

答えの無いことや、方法が複数あることに迷い、悩み、知恵を絞り、汗をかきながら仲間とともにやり遂げた先にある充実感や達成感が何とも言えず、次の仕事のモチベーションにつながります。

仕事を通して自己有用感を得て、少しずつ自己実現に近づいている感覚を得られることが仕事のやりがいになっています。



### 最も印象に残っている教育活動

学校においては、定時制課程勤務時に小中学校を通して不登校だった生徒や児童自立支援施設から通学している生徒、教職員よりはるかに年配の生徒が、関わりの中で互いの良さを理解し合い、励まし合いながら卒業を旨とし学校生活を送る姿を通して「教育の原点」を体験することができました。

また、教育行政においては、新型インフルエンザへの対応や児童生徒のう歯予防のための「フッ化物洗口」の導入など、前例のない課題に昼夜を問わず奔走しました。

### 妊娠・出産時の仕事の状況及び対応

妊娠中は悪阻がひどく、食事でも満足に取れない状況でしたが、学校では気持ちが張り詰めているためか、気分も良く、元気に過ごすことができました。妊娠中は自分自身の体の変化を教材として、性に関する指導を行いました。産休代替の方の都合や予定日より早期の出産となったこともあり、事前の準備、母親になる感慨に浸る暇もなく出産、育児に突入しました。

また、出産後は配偶者が同一校に勤務していたこともあり、子供の発育の様子や親としての想いなどを学級通信にコラムとして掲載してもらったところ、生徒や保護者から好評を得ました。

### 仕事を続けていく上で大切にしていること

子育てをしながら仕事を続けることができたのは、職場や家族の理解とご近所さんやママ友の助けがあったからだと思います。多くの方の支えで仕事ができることに感謝し、「一期一会」の心を持って、そのときに自分ができることにベストを尽くすこと、10年後の自分に恥じないことを心掛けています。

### 後輩女性教職員へのアドバイス

「〇〇ぶらず、自分らしく」。肩肘を張らずに、「好い(いい)加減」で毎日を楽しんで下さい。時が解決してくれることがたくさんあります。手を差し伸べてくれる人もたくさんいます。



所属校	職名	氏名
網走市立網走小学校	教諭	吉崎 紘一郎

年月	主な経歴
平成23年 4月	湧別町立湧別小学校 教諭 (算数TT・少人数指導, 家庭科・音楽専科)
平成25年 3月	長男出生
平成26年 4月 ～平成27年 3月	育児休業取得 (長男が1歳時に取得(1年間))
平成28年 4月	網走市立網走小学校 教諭 (特別支援学級担任)



### 育児休業取得のきっかけ

大学時代の恩師が、ご自身の研究とともに家事・育児を大変大切にされている方でした。その生き方に憧れを抱き、育児休業を取得したいと考えるようになりました。

### 育児休業取得時の仕事の状況

湧別小学校に初任者として着任し、3年間の勤務が終了した後、取得しました。

### 育児(休業)との両立を経験して得たもの

育児休業を経験したことで、共働きで家事・育児をする基盤を得ることができました。

**お互いに思いやりを持って接する大切さを実感しました。**「台所、きれいになったね。ありがとう。」「大変だったでしょ。土日、好きなことをしていいよ。」といった言葉が、どれだけ心の慰めになるかを実感できました。共働きになってからは、「ありがとう。」「助かるよ。」「休みの日、ゆっくりして。」と声を掛けることができるようになりました。

**家事・育児を主体的に行う自信を得ることができました。**「そんな時は、この方法でやるといいよ。」と妻や先輩主婦の方々に教えていただいたおかげで、家事・育児を楽しみながら行うことができました。また、自分の得意不得意も分かりました。そのため、共働きになってからも、「家族が幸せしているためには、自分には何ができるか。」と、家事・育児の主役の一人として自分をとらえることができました。

**家事・育児を両立している、保護者の方々や同僚に深い敬意を感じました。**「先生、変わったね。」復帰直後の家庭訪問で、保護者の方に言われた印象的な一言です。育児休業中は、つい同じ年代の子と成長ぶりを比較したり、言葉掛けや躰の仕方は間違っていないかと不安になったりすることがありました。子育てをする親の気持ちを実感することで、保護者の方と問題意識や困り感を共有できるようになったと感じています。

### 職場(上司・同僚)の反応

職場では、妻が妊娠する以前から、「もし子供が生まれたら、育児休業を取得します。」と折に触れて話をしていました。長男が出生した後、校長・教頭が私の意向を数回確認した上で、育休取得後の体制を考えてくださいました。とても心強かったです。



### 育児(両立支援)に関わる男性職員へのアドバイス

育児に携わると、「無駄はないか。」と自分の働き方や暮らし方を見直すことになります。そうして得られた知見やノウハウは、多くの方のよりよい働き方のヒントになるはずです。

抵抗はあるかもしれませんが、育児休業は夫・父・教師として幸せに生きていく方法を探る貴重な時間となるので、各種制度を利用して育児に携わることをおすすめします。

所属校	職名	氏名
音更町立音更小学校	教諭	木下 尊徳

年月	主な経歴
平成14年 4月 平成18年 4月	広尾町立広尾小学校教諭 大樹町立石坂小学校教諭 (平成21年3月閉校)
平成21年 4月 平成24年 6月 平成26年 4月	陸別町立陸別小学校教諭 長女出生 長男出生
平成27年 4月 ～平成28年 3月	育児休業取得
平成28年 4月	音更町立音更小学校教諭



### 育児休業取得のきっかけ

長男が1歳の誕生日を前に、妻が長女と長男、のべ3年間の育児休業を終了、職場復帰し、同時に異動になりました。さらに、自分も異動対象になっていたこと、家を建設したことなどが重なりました。自分も妻も新しい職場へ行き、家族で引っ越し、子どもたちは新しい町で保育所に通わなければならないなど、すべてが変化することへの家族の負担を考慮し、育児休業取得を考えました。

しかし、それ以上に、一人の親として男性、女性という区別ではなく、責任を持って子育てをしたいと考えたことも大きな要因です。そこで、長女・長男と一緒に1年間様々なことに挑戦しようと、育児休業を取得しました。

### 育児休業取得時の仕事の状況

在籍校6年目であったこと、取得半年以上前に管理職に相談していたこと、年度始めから年度末まで区切りがよかったこと、妻の育児休業代替教諭がいたため継続してお願いすることが可能であったことなどからスムーズに育児休業を取得することができました。

### 家族の反応(様子)

妻には新しい職場への異動があったことや家事・育児・家庭の用事すべてを引き受けたため、非常に助かると言ってもらえました。子どもたちは、育児休業開始当初、新しい環境・父親がずっと一緒に家にいることに対して抵抗を示していたものの、最後には、様々な場所へ出かけ、様々なものを見たり聞いたり感じたりと貴重な経験ができたことに喜んでいました。

### 育児(両立支援)に関わる男性職員へのアドバイス

まず、妻の職場復帰がある場合は、できるだけ妻と交代して育児休業を取得することをおすすめします。育児は社会生活と離れてしまう期間でもあります。夫婦が同時に取得すると同じ時間を共有することはできませんが、復帰の際にお互いに負担がかかってしまいます。

次に、短期間の育児休業は、短期的な負担軽減にはなりますが、子育てはその後も続いていきます。子どもの成長を見届けられるよい機会であると同時に、家族としての在り方を考えるよい機会です。炊事・洗濯・掃除・通院・定期検診などひと通り経験するためにも、ぜひ長期取得してみてはいかがでしょうか。

最後に、家族としての在り方をしっかりと夫婦で相談しましょう。育児休業取得期間中のことを話し合うことはもちろん必要です(自分の場合は、約半年基本無給でした)。しかし、その時だけではなく、5年後・10年後の家族のあり方を想像して、どうするべきかを話し合っておくことが必要です。

ともかく、制度として認められている育児休業。せっかくの機会です。自分のためにも家族のためにもよい経験となると思います。可能な限りの取得をおすすめします。



### 育児(休業)との両立を経験して得たもの

毎日同じリズムで生活する中、自分の時間や予定がまったく立たず、外出先ではトイレにも行けない(男性トイレにはおむつ替えスペースがないことなど苦労することが多々ありました)など、母親の大変さを痛感しました。また、男性として子育て支援センターや新聞社主催のワークショップなどに参加する中で、母親としての悩みや難しさを聞き、改めて、子育ては子どもを取り巻くみんなが協力・分担して行うことが大切だということを強く感じました。

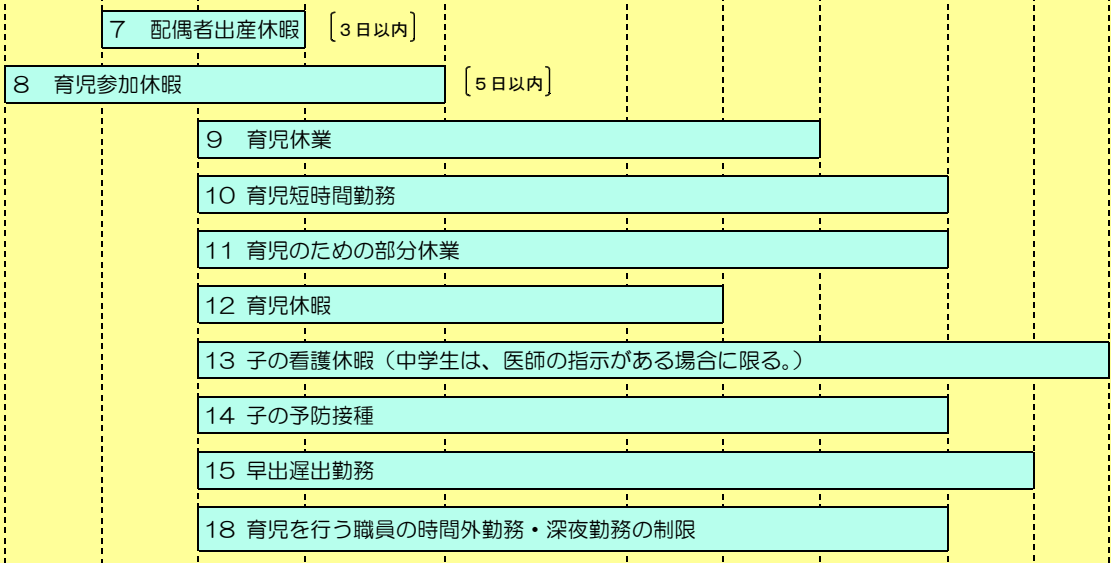
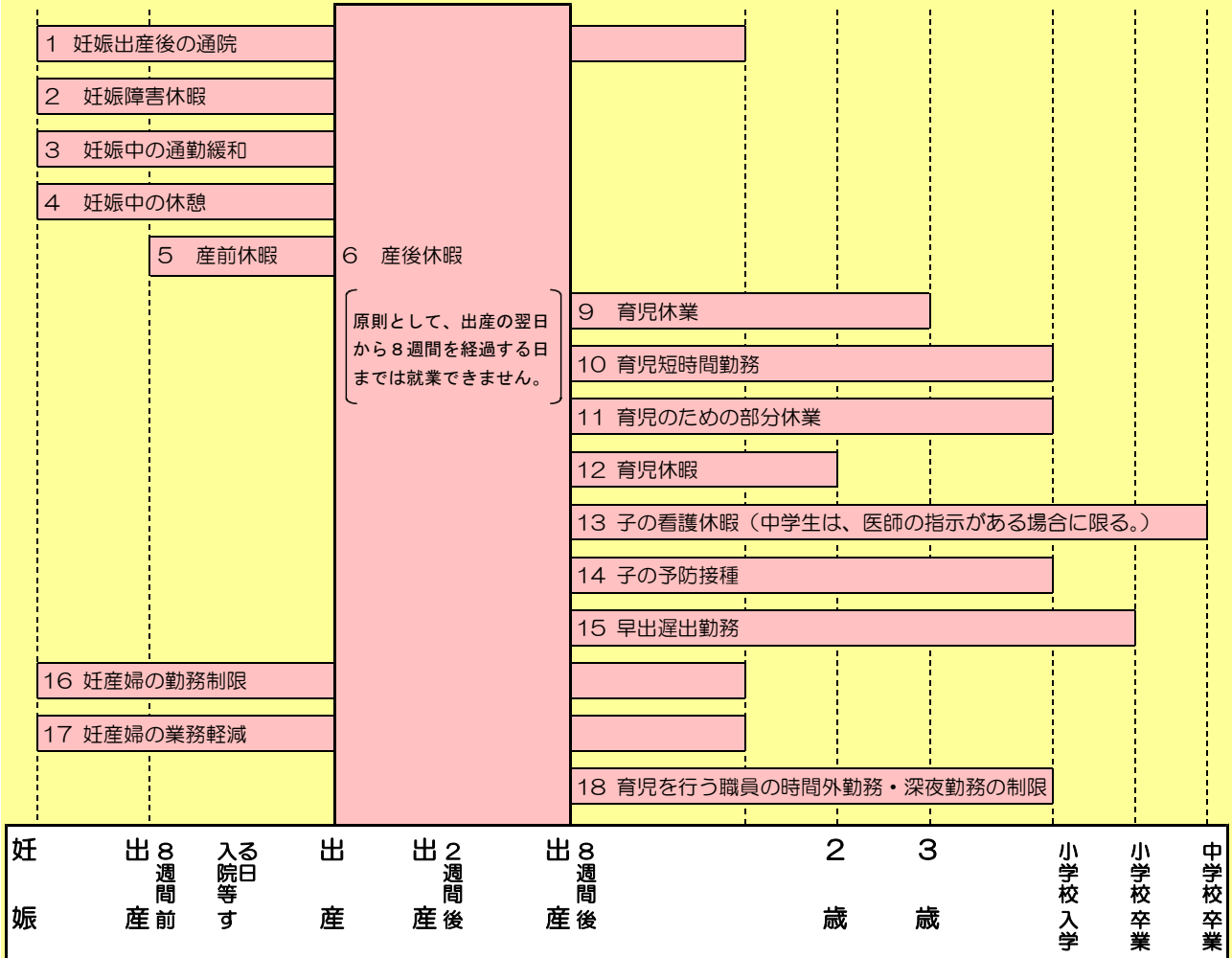
## 学校職員の子育て支援制度の概要

番号	制度の名称	制度・手続等	対象者		取得できる場合・期間など
			女性職員	男性職員	
1	妊娠出産後の通院	免除	○		妊娠中及び出産後において、母子保健法に基づく保健指導又は健康診査を受ける際に、勤務が免除される制度（妊娠期間等によりその取得可能回数が異なる）
2	妊娠障害休暇	特別休暇	○		つわり等の妊娠中の障害により勤務することが困難な場合に取得できる休暇（妊娠中において、14日以内の取得が可能）
3	妊娠中の通勤緩和	免除	○		通勤に利用する交通機関（自家用車を含む。）の混雑によりその母体又は胎児の健康保持に影響がある場合に勤務が免除される制度（勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日合わせて1時間以内）
4	妊娠中の休憩	免除	○		業務が母体又は胎児の健康保持に影響がある場合に、適宜休憩し、又は補食するために必要な時間（その都度必要と認める期間）の勤務が免除される制度
5	産前休暇	特別休暇	○		出産予定日の前日から起算して8週間（多胎妊娠の場合は14週間）前から出産日まで取得できる休暇
6	産後休暇	特別休暇	○		出産日の翌日から8週間を経過する日までの間の休暇（6週間を経過した職員が申し出た場合、医師が支障がないと認めた業務に就く場合を除き、就業できない。）
7	配偶者出産休暇	特別休暇		○	配偶者の出産に係る入退院の付添い等を行うために取得できる休暇（出産等のため配偶者が入院する等の日から出産の日後2週間までの間に3日以内、時間単位で取得可能）
8	育児参加休暇	特別休暇		○	配偶者が出産する場合で、生まれてくる子又は小学校就学の始期に達するまでの子の養育をするために取得できる休暇（配偶者の出産予定日の前日から起算して8週間前から出産の日後8週間を経過する日の間に5日以内で付与、時間単位で取得可能） ※生まれてくる子が第1子の場合は出産後8週間のみ取得可能
9	育児休業	休業	○	○	3歳未満の子を養育するとき、その子が3歳に達する日まで、母親、父親のどちらでも取得できる制度 育児休業期間中は無給となるが、その間、次の支援措置を受けることができる。 ①子が1歳に達する日（申し込んでいた保育所に入所できなかった等の場合は、1歳6ヶ月）に達するまで「育児休業手当金」の支給 ②公立学校共済組合掛金・互助会費の免除
10	育児短時間勤務	休業	○	○	小学校就学の始期に達するまでの子（入学式に関係なく3月31日まで。以下同じ。）を養育するとき、職員が希望する日及び時間帯で勤務できる制度（あらかじめ定められた勤務形態から職員が選択）
11	育児のための部分休業	休業	○	○	小学校就学の始期に達するまでの子を養育するとき取得できる制度（勤務時間の始め又は終わりにおいて、1日当たり合計2時間以内、30分単位で取得可能）
12	育児休暇	特別休暇	○	○	生後2年に達しない子を有する職員が、子を養育する場合（主に子の保育施設への送迎など）に取得できる休暇（1日当たり合計2時間以内、最小30分単位から取得可能）
13	子の看護休暇	特別休暇	○	○	中学校就学の終期に達するまでの子（中学生は、医師の指示がある場合に限る。）を養育する職員が、子の通院付添いや看病などの看護をする場合、子に予防接種を受けさせる場合に取得できる休暇（対象となる子1人につき5日以内（対象となる子が3人以上の場合は15日以内）で付与。時間単位で取得可能、配偶者が主婦（夫）でも取得可能）
14	子の予防接種	免除	○	○	小学校就学の始期に達するまでの子に法的義務がある予防接種を受けさせる場合に必要な時間（その都度1日以内）の勤務を免除する制度（子の看護休暇の残日数が0である場合に限る）
15	育児を行う職員の早出遅出勤	割振変更	○	○	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員又は学童保育施設等に託児している小学生の子を出迎えに行く職員が始業又は終業時刻の繰上げ又は繰下げをできる制度（午前7時から午後10時までの間で）
16	妊産婦の勤務制限	所属長へ口頭請求	○		妊産婦（妊娠中又は産後1年を経過しない女性）である女性職員の深夜勤務、時間外勤務、休日勤務を制限する制度（妊産婦の期間が対象）
17	妊産婦の業務の軽減措置等	所属長へ口頭請求	○		妊産婦（妊娠中又は産後1年を経過しない女性）である女性職員の業務の軽減又は軽易な業務に就かせることを認める制度（妊産婦の期間が対象）
18	育児を行う職員の時間外勤務の制限	所属長へ請求書を提出	○	○	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員の時間外勤務を月24時間、年間150時間以内に制限する制度
	○		○	小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員の深夜（午後10時から翌日午前5時まで）の勤務を制限する制度	

※休業は、勤務を行わなかった分の給与が支給されません。免除などのその他の制度については給与に影響がありません。

# 学校職員の子育て支援制度（取得期間別）

## 女性職員



## 男性職員